



クリスマスにおもちつき、大掃除と大忙しの12月。クリスマスパーティーの食事の準備や台所の大掃除など、昔から残る習慣を伝える良い機会です。十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけて、クリスマスや年末年始といった楽しい時間を過ごしましょう。



家族で食事を楽しむ 機会をつくりましょう

12月～1月は、クリスマスやお正月などで家族や親しい人と共に食事ができるよい機会です。大勢で食べる喜びや安心感は、料理を一層おいしく感じることにもつながります。

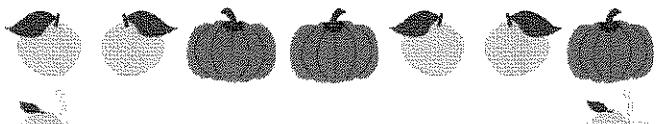
また、行事食を通して、食への興味が深まる効果も期待できます。
ぜひ、楽しい食事の時間を設けてあげてください。



できるだけ食事の お手伝いを

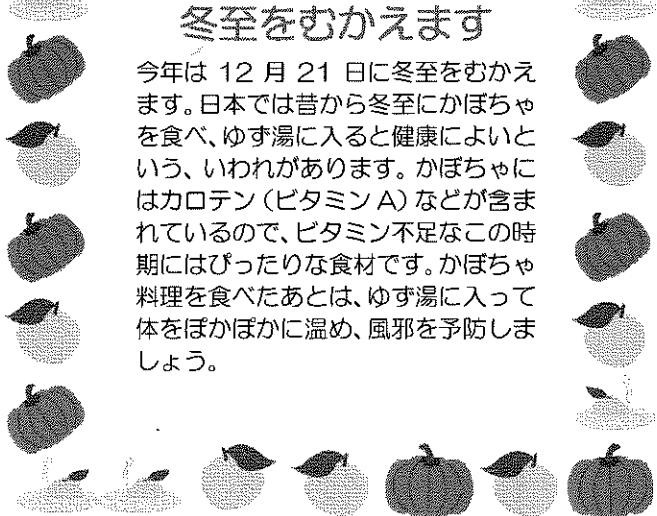
冬休みは、ふだんより親子で一緒に過ごす時間があります。そこで、お子さんに食事のお手伝いを呼びかけてみてはいかがでしょうか。

買い物で一緒に食材を選んだり、簡単な下準備を手伝ってもらったりなど、まずは子どもができる範囲で参加することから始めてみましょう。そして、「ありがとう。おいしいよ」の一言で、子どもの食への関心を高めていきましょう。



冬至をむかえます

今年は12月21日に冬至をむかえます。日本では昔から冬至にかぼちゃを食べ、ゆず湯に入ると健康によいという、いわれがあります。かぼちゃにはカロテン(ビタミンA)などが含まれているので、ビタミン不足なこの時期にはぴったりな食材です。かぼちゃ料理を食べたあとは、ゆず湯に入って体をぽかぽかに温め、風邪を予防しましょう。



「旬」の味わいを食卓に！

●きのこ…低カロリーで食物繊維やリンを含む。
リンは骨や歯の材料になる。

●カリフラワー…ビタミンCを多く含む。
疲労回復や風邪予防になる。

●りんご…りんごの皮には、ペクチンが多く含まれる。整腸作用を促し、便秘を防ぐ。

●さば…タンパク質、ビタミンB2が豊富。
血液循環をよくし、成長を促進する。



